

当院を受診している患者さんへ

当院では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	Epstein-Barr virus 陽性 B 細胞性リンパ増殖性疾患の臨床病理学的検討
研究機関名及び 研究機関の長 (試料・情報の管理 責任者)	愛知医科大学病院 病院長 道勇学
研究責任者	病理診断学講座 講師 佐藤啓
試料・情報の利用目的及び利用方法	<p>〔利用目的〕</p> <p>Epstein-Barr virus 陽性 B 細胞性リンパ増殖性疾患の臨床病理学的特徴や治療成績、予後を明らかにします。これによって今後の診断、治療戦略を構築する上で重要な情報を得ることを目的とします。</p> <p>〔対象となる患者さん〕</p> <p>2010 年 1 月から 2026 年 4 月までにリンパ腫、形質細胞腫瘍と診断された患者さん</p> <p>〔研究期間〕</p> <p>研究実施承認日 ~ 2027 年 10 月 31 日</p> <p>〔利用方法〕</p> <p>多機関共同の調査研究として行います。選択基準を満たした方を対象に、その診断時における臨床的所見、血液検査所見について調査票を用いてデータを収集し解析を行います。また、診断時に使用した生検検体もしくは切除標本を用い、免疫組織化学的な評価、PCR 法による IgH 遺伝子、TCR 遺伝子再構成の検索、形態像などの病理組織学的所見を再評価します。遺伝子異常の有無に関しても既存資料を用いて行い、FISH、Sanger 法や target sequence を用いて調べます。</p> <p>治療を行った方に関しては、治療方法とその反応性を調査します。予後については、生死、再発・増悪の有無について調査を行います。</p> <p>これらのデータをもとに、生物統計学的方法によって生存期間、無増悪生存期間、治療法毎の奏功割合、生存期間や無増悪生存期間、奏効割合に影響する予後影響因子について解析します。</p> <p>希望があれば、研究計画の内容を見ることができます。下記問い合わせ先まで御連絡頂ければ対応致します。</p> <p>〔他の機関へ提供される場合はその方法〕</p>

	<p>下記に記した“試料・情報の提供を行う機関”と、当講座に収集された未染標本および臨床情報をもとに得た研究データを共有し、データの評価および解析を共同で行います。</p> <p>その際、研究データの提供は郵送や電子メールによって行います。</p>
利用又は提供する試料・情報の項目	<p>試料：ホルマリン固定ブロック</p> <p>情報：血液検査結果、放射線画像検査結果等</p>
試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名	<p>名古屋大学大学院医学系研究科・研究科長・木村宏</p> <p>藤田医科大学病院・院長・白木良一</p> <p>名古屋医療センター・院長・長谷川好規</p> <p>神戸市立医療センター中央市民病院・院長・木原康樹</p> <p>山梨大学医学部・学部長・平田修司</p> <p>愛知県がんセンター・病院長・山本一仁</p> <p>東海大学医学部・学部長・森正樹</p> <p>岡山大学医学部・学部長・豊岡伸一</p> <p>久留米大学医学部・学部長・矢野博久</p>
提供する試料・情報の取得の方法	<p>試料：ホルマリン固定ブロックから未染標本を作成する</p> <p>情報：カルテより血液検査結果、放射線画像検査結果等を抽出する</p>
提供する試料・情報を用いる研究に係る研究機関名・研究責任者名	<p>愛知医科大学 病理診断学講座・講師・佐藤啓</p>
共同研究機関名・研究責任者名	<p>名古屋大学大学院医学系研究科 臓器病態診断学・教授・加留部謙之輔</p> <p>藤田医科大学病院 病理診断科・教授・塚本徹哉</p> <p>藤田医科大学病院 病理診断センター・教授・加藤省一</p> <p>名古屋医療センター 病理診断科・医師・岩越朱里</p> <p>神戸市立医療センター中央市民病院 病理診断科・医長・山下大祐</p> <p>山梨大学大学院総合研究部医学域 人体病理学講座・准教授・大石直輝</p> <p>愛知県がんセンター・病院長・山本一仁</p> <p>東海大学医学部 病理診断学・教授・中村直哉</p> <p>岡山大学医学部保健学科 分子血液病理学・教授・佐藤康晴</p> <p>久留米大学医学部 病理学講座・教授・大島孝一</p>
当院へ既存試料・情報の提供のみを行う機関	<p>岡崎市民病院 病理診断科・医師・石岡久佳</p> <p>県西部浜松医療センター 病理診断科・部長・森弘樹</p> <p>公立陶生病院 病理診断科・部長・北村淳子</p> <p>JCHO 中京病院 病理診断科・部長・服部行紀</p> <p>聖隷浜松病院 病理診断科・部長・大月寛郎</p> <p>大垣市民病院 病理診断科・部長・岩田洋介</p> <p>一宮市立市民病院 病理診断科・部長・中島広聖</p> <p>市立四日市病院 病理診断科・部長・奈良佳治</p> <p>磐田市立総合病院 病理診断科・部長・谷岡書彦</p> <p>豊田厚生病院 病理診断科・部長・成田道彦</p>

	<p>信州大学医学部附属病院 病理診断科・准教授・上原剛 名古屋掖済会病院 病理診断科・部長・佐竹立成 松江赤十字病院 病理診断科・部長・三浦弘資 大阪医療センター 血液内科・石・中谷綾 江南厚生病院 病理診断科・部長・福山隆一 小牧市民病院 病理診断科・部長・桑原恭子 海南病院 病理診断科・医長・露木琢司 川崎市立川崎病院 血液内科・部長・定平健</p>
<p>試料・情報の利用又は提供を希望しない場合</p>	<p>本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2027年4月30日までにメール送信、電話もしくは郵送により下記問い合わせ先まで申し出てください。</p>
<p>問い合わせ先</p>	<p>愛知医科大学病院 病理診断科 担当者：医員助教・山本侑季 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311（内線 37400）</p>